

(様式第7号)

おおさかグローバル奨学金留学報告書

2013年 10月 21日

留学期間	平成	25年	4月	7日 ~ 26年 4月 日
留学先	国名	イギリス	学校名	Oaklands College
専攻	EFL(English as a Foreign Language) course- Full time			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

留学中での生活・イギリス留学の経緯

当初、僕は日本人男性（以降、彼と呼びます）とイギリス人女性の夫婦と子供二人（現在5歳と7歳）のお宅でホームステイをしていました。実は、この彼の存在が僕の語学留学の決め手であり、イギリスを選んだ理由でもありました。彼は10年以上イギリスに住んでおり2年ほど前から珠算と基本的な算数を現地の子供たちに教えています。そして、僕も渡英する前まで放課後などに僕の習った珠算塾で先生に誘われたのをきっかけに長い間珠算を子供たちに教えていました。僕の珠算の先生と彼は珠算を世界に広めることを推進する機関の一員でした。そして、彼がその機関から発行する珠算雑誌へある記事を出しました。内容は「イギリスで珠算指導・交流」のようなものでした。彼は珠算に心を魅かれ、イギリスで広めようと努力していますが、あまり高い珠算能力を持ち合わせてなかったようで、彼に珠算を教える人及び彼の珠算・算数塾を手伝う人を住む場所を提供する代わりに短期（2週間ほど）で募っていました。それを偶然発見した僕の珠算の先生がECCに通っていた僕にその記事を見せ、あまり英語が話せない僕にとってこれはチャンスだと教えてくれ、1年行くことを勧めてくれました。この1年はきっと僕の人生にとっても大切になるだろうと。それから彼と連絡を取り、部屋をホームステイ先が見つかるまで貸してくれるということになりました。昨年彼が来日した時にも僕と会っていただき親交を深めました。彼はとてもいい人で、ビザ関係のことや何をすればいいかなど留学に関して一切知らない僕に色々教えてくれました。そのおかげでビザの申請も機関を通さずに成功しました。ちなみに、彼は日本人ですが僕のために会話は日本語ではなくほとんどの場合、英語ですべて頂いています。長くなりましたがここまでがイギリスで留学を選んだ経緯です。本場の英語を学べるというのも一つの理由でしたが珠算の影響がやはり大きいです。

イギリスの初めの印象は大阪と比べて自然が豊かだと思いました。空気も心なしか新鮮でおいしいと思います。僕の住んでいる周りだけでもありませんが、緑が多くほぼ全ての家庭が庭を所有しており、ガーデニングを楽しんでいる人が多いみたいです。

渡英してから1週間後、語学学校の授業が始まりました。学校は滞在先からバスで1時間ほどの距離。僕は英語の授業をフルタイム（毎日3時間）で履修しています。いろんな国から英語の授業を受けに来ています。ベルギー、コロンビア、韓国、サウジアラビア、ドイツ、トルコ、などなど。色々な人と友達になれたり、他の文化を知ることができたりでとても興味深い経験ができています。これだけでもイギリスに来て良かったと思えます。そして、英語で様々な人とコミュ

ニケーションが取れるという素晴らしさを再認識しました。ちなみに、この学校で他の日本人学生は今のところ会ったことがありません。マイナーな学校なので日本人はほとんど来ないみたいです。結果、日本語を喋らなくて済み、日本人に囲まれて留学終了ってことにはならなそうなのでこの点では良かったです。授業が始まって、最初のほうは英語だけの授業をあまり経験したことがなかったので相手が何を言っているかわからない時が多かったですが、半年経つと全てじゃないですがほとんどわかってくるようになってきました。

放課後は上で述べた彼の珠算塾で英語の練習も兼ねてお手伝いさせていただいています。驚いたのがその珠算授業では親が子供の隣に座り、子供をサポートしています。子供の扱いが日本と違い、小学校でも授業が終わる頃にはほとんどの親が子供を毎日車などで学校まで迎えに行くみたいです。少し過保護だと思いましたが、これが文化の違いだと実感しました。しかし、親御さんは優しい人ばかりで、よく話しかけてくれたりしてくれます。生徒は英国人の子供もちろんいますが、移住してきた中国人、インド人に珠算は人気があるみたいです。イギリスには多くの移民がやっています。日本と違い多様性が溢れています。初めはやはり環境なども違うので英語で教えるのは難しかったですが、こちらも半年経つと慣れてきました。今では彼が授業に何らかの理由で来ることができない時は僕一人で授業を任されるぐらいです。

留学開始1ヶ月後、彼が新しいホームステイ先を見つけてくれそこに移動することになりました。といっても、彼の家から7-8分の距離ですが。そのホームステイ先は、イギリス人夫婦のお宅です。彼らには4人の子供がいますが、4人とも成人し家を出て別の場所に住み、働いたりしています。そのため、部屋が余っているということで手頃な価格で部屋を貸していただけることになりました。時々、家族が集まるときがあるので、一緒に過ごしたりします。本当に優しく思いやりのある家族で、こんなにいい家族に少しの間でも入れて僕は幸運だと自負しております。何も問題なければあと6か月こちらのイギリス人家族と過ごしたいです。

旅行

留学をしたいと思った他の理由は海外に一度も行ったことが無く、色々なものを見てみたいと思ったのもありました。せっかくイギリスに来たので、楽しまないで損だと思いこの半年間で有意義な旅行をしました。

4月に彼の家族と一緒にロンドンに行きました。ハイドパーク、バッキンガム宮殿、ピクベンなどを見て回りました。写真などでは何度か見たことがありましたが、やはり実物はもっと迫力がありました。

5月の終わりにハーフタームホリデーというのがあり、学校が一週間休みだったので、ドイツに3泊4日で行って来ました。なぜドイツかといいますが、ECCの友達がドイツへ留学中で友達の部屋に泊まれるということだったので、いい機会だと思い行くことにしました。その友達とドイツのびっくりするぐらい安いビールや美味しいソーセージなどを堪能し十分に楽しめることができました。

8月にはホストファミリーがスコットランドの首都エディンバラに連れて行ってくれました。この時期は、世界で最も大きい祭りの一つエディンバラフリンジフェスティバルというのが開かれていて、世界中からあらゆるパフォーマーが集まってきます。無料のものも多くお金を使わず、ある程度英語ができれば楽しめます。

あとイギリス生活もあと半年ですが、悔いのないようできるだけ楽しみながら勉強に励みたいと思っています。

※上記の内容については、公表される場合があることを了承します。